

おいしさと健康

Glico

第103期

報告書

[平成19年4月1日▶平成20年3月31日]



江崎グリコ株式会社



Glicoの理念

おいしさと健康

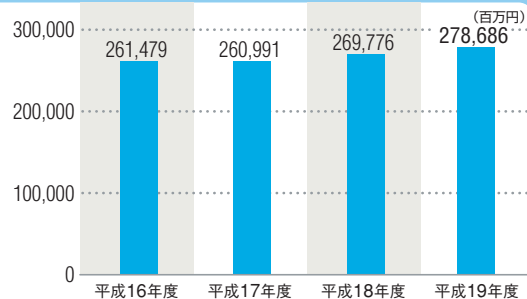
おいしさの感動を、健康の喜びを、
生命の輝きを

Glicoは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドで
いきいきとした生活づくりに貢献します。

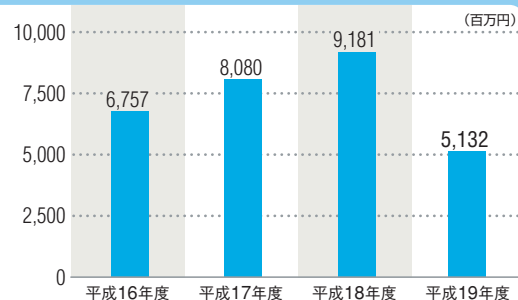
財務ハイライト

連結

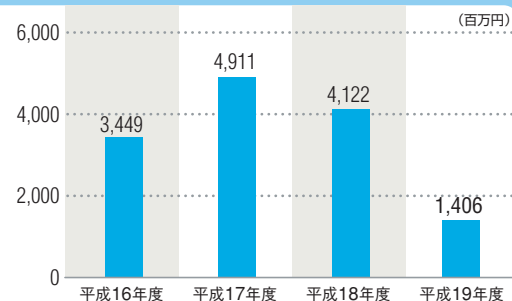
売上高



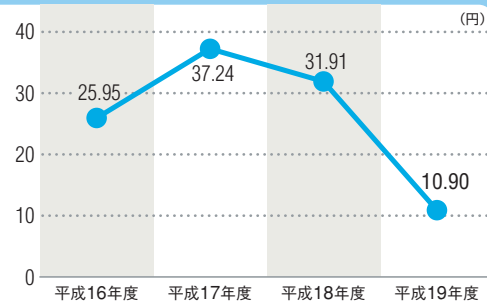
経常利益



当期純利益



**1株当たり
当期純利益**



C O N T E N T S

株主の皆様へ	2
部門別の概況(連結)	3
連結決算の状況	5
単独決算の状況	8
安全・安心への取り組み	9
トピックス 新製品のご紹介	11
ニュース	15
会社の概要	16
役員	16
株式の状況	17
株主メモ	18

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。当社の第103期報告書をお届けするにあたり、ひとことごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績の好調さによる設備投資の増加や個人消費の持ち直しもあり、緩やかな回復基調を辿りました。しかし、一方では、米国のサブプライムローンに端を発した国際的金融不安、原油価格高騰の長期化、さらにバイオ燃料の利用拡大や世界的消費増大及び天候不順による農産物価格の高騰が続いており、食品業界にとっては非常に厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「グリコグループ行動規範」に基づき、信頼される企業であり続けることを事業展開の基本としながら、主力品の強化、新製品・系列品の発売、自動販売機や職場専用ボックスでの販売等による販売拠点の拡大や各々の流通形態に適合した販売対策を積極的に展開いたしました。その結果、売上面では、牛乳・乳製品部門は前連結会計年度をわずかに下回りましたが、菓子・冷菓・食品・畜産加工品部門が前連結会計年度を上回ったため、当連結会計年度の売上高は278,686百万円となり、前連結会計年度(269,776百万円)に比べ3.3%の増収となりました。

利益面につきましては、国際的な原材料価格の高騰に対し、

取締役社長

北崎勝久



製品規格の変更、使用原料の見直し等、様々な対応策に着手いたしました。税制改正に伴う減価償却費の増加もあり、売上原価率はアップいたしました。さらに、主力既存品への注力や新製品の発売等、積極的な販売促進活動を行ったことにより販売促進費や広告費が増加いたしました。その結果、営業利益は4,267百万円と前連結会計年度(7,704百万円)に比べ3,437百万円の減益となり、経常利益は5,132百万円と前連結会計年度(9,181百万円)に比べ4,049百万円の減益となりました。

また、当連結会計年度は投資有価証券売却益等を特別利益として計上し、固定資産や投資有価証券に関する減損損失等を特別損失として計上いたしました。その結果、当期純利益は1,406百万円となり、前連結会計年度(4,122百万円)に比べ2,715百万円の減益となりました。

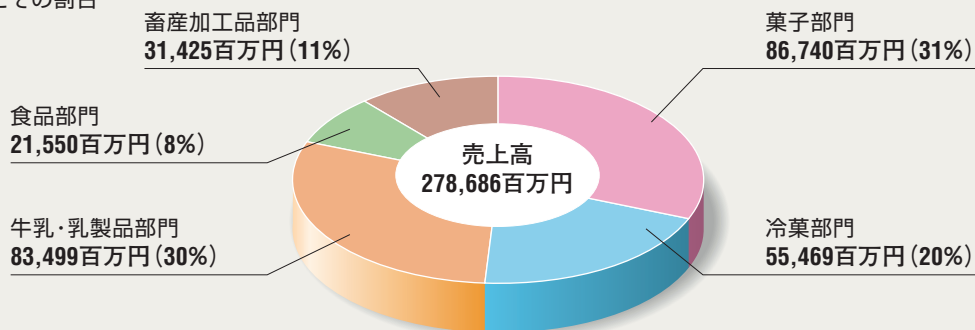
なお、配当金については、中間配当(1株につき5円)に加え、1株につき10円とさせていただきます。当社を取り巻く環境は益々厳しくなっておりますが、全社を挙げて業績の向上をはかり、株主の皆様のご期待におこたえする所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

部門別の概況 連結

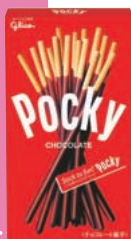
部門別売上高とその割合



菓子部門

86,740百万円

前年同期比8.3%の増収



国内では、主力品の「ポッキーグループ」、「プリッツグループ」、「カプリコグループ」が前連結会計年度を上回りましたが、「メンタルバランスチョコレートGABA」やガムは前連結会計年度を下回りました。一方、海外では、タイ、中国が当連結会計年度も引き続き順調に売上を伸ばしました。その結果、当連結会計年度の売上高は86,740百万円となり、前連結会計年度（80,099百万円）に比べ8.3%の増収となりました。

冷菓部門

55,469百万円

前年同期比2.5%の増収



主力品の「パピコ」や「ジャイアントコーン」が好調に推移し、「ミニセレ」、「カロリーコントロールアイス」等も増収となり、卸売販売子会社も増収となりました。一方、新製品の「デブ」は苦戦いたしました。その結果、当連結会計年度の売上高は55,469百万円となり、前連結会計年度（54,094百万円）に比べ2.5%の増収となりました。

牛乳・ 乳製品部門

83,499百万円

前年同期比0.1%の減収



“カフェオーレ”等の乳飲料や“ハッピーブッチンプリン”、“とろ〜りクリームonプリン”等が順調でした。一方、ヨーグルト製品や清涼飲料は競争の激化等により前連結会計年度に比べ減収となりました。その結果、当連結会計年度の売上高は83,499百万円となり、前連結会計年度（83,568百万円）に比べ0.1%の減収となりました。

食品部門

21,550百万円

前年同期比2.6%の増収



“カレー職人”等のレトルトカレーや新製品の“黒はるさめスープ”は順調に推移いたしました。さらに、“2段熟カレー”も下期は好調に推移いたしました。一方、“DONBURI亭”は厳しい競合の中で苦戦となりました。その結果、当連結会計年度の売上高は21,550百万円となり、前連結会計年度（21,005百万円）に比べ2.6%の増収となりました。

畜産加工品 部門

31,425百万円

前年同期比1.3%の増収



ハム、ソーセージ、ベーコン関係は前連結会計年度を上回りましたが、ハンバーグや麺類等が苦戦いたしました。一方、食品原料は澱粉が順調で前連結会計年度を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は31,425百万円となり、前連結会計年度（31,009百万円）に比べ1.3%の増収となりました。

連結決算の状況

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成19年3月31日)	当連結会計年度 (平成20年3月31日)		前連結会計年度 (平成19年3月31日)	当連結会計年度 (平成20年3月31日)
[資産の部]			[負債の部]		
I 流動資産	77,899	71,593	I 流動負債	65,164	62,530
現金及び預金	15,154	9,380	支払手形及び買掛金	30,708	29,595
受取手形及び売掛金	31,427	29,546	短期借入金	7,358	8,322
有価証券	7,013	7,349	未払費用	20,644	18,636
たな卸資産	16,332	19,131	未払法人税等	901	595
前渡金	169	238	その他	5,550	5,381
前払費用	210	478	II 固定負債	18,902	17,632
短期貸付金	587	489	長期借入金	14	6
繰延税金資産	2,636	2,297	退職給付引当金	14,464	13,287
その他	4,621	2,842	役員退職慰労引当金	1,032	1,098
貸倒引当金	△254	△161	負ののれん	238	—
II 固定資産	133,772	131,084	その他	3,152	3,239
(有形固定資産)	66,084	66,596	負債合計	84,067	80,162
建物及び構築物	22,509	21,444	[純資産の部]		
機械装置及び運搬具	24,332	24,691	I 株主資本	121,285	120,633
工具器具備品	3,532	3,370	資本金	7,773	7,773
土地	14,652	14,396	資本剰余金	7,419	7,421
建設仮勘定	1,057	2,694	利益剰余金	116,463	115,932
(無形固定資産)	1,557	1,050	自己株式	△10,371	△10,493
(投資その他の資産)	66,129	63,436	II 評価・換算差額等	4,885	△76
投資有価証券	54,432	48,794	その他有価証券評価差額金	5,937	684
長期貸付金	909	1,014	繰延ヘッジ損益	△907	△803
長期前払費用	176	247	為替換算調整勘定	△145	43
繰延税金資産	4,105	7,031	III 少数株主持分	1,433	1,957
その他	7,572	7,380	純資産合計	127,604	122,514
貸倒引当金	△1,066	△1,032	負債純資産合計	211,671	202,677
資産合計	211,671	202,677			

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (18.4.1～19.3.31)	当連結会計年度 (19.4.1～20.3.31)
I 売上高	269,776	278,686
II 売上原価	156,902	165,197
売上総利益	112,873	113,488
III 販売費及び一般管理費	105,169	109,221
営業利益	7,704	4,267
IV 営業外収益	2,822	2,918
（受取利息及び配当金）	1,223	1,070
（その他）	1,599	1,848
V 営業外費用	1,345	2,053
（支払利息）	120	223
（その他）	1,225	1,830
経常利益	9,181	5,132
VI 特別利益	50	754
（固定資産売却益）	50	321
（投資有価証券売却益）	—	228
（その他）	—	203
VII 特別損失	1,244	1,461
（投資有価証券評価損）	305	758
（減損損失）	887	670
（その他）	51	32
税金等調整前当期純利益	7,987	4,424
法人税、住民税及び事業税	2,185	1,746
法人税等調整額	1,401	900
少数株主利益	277	370
当期純利益	4,122	1,406

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (18.4.1～19.3.31)	当連結会計年度 (19.4.1～20.3.31)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,987	4,424
減価償却費	9,739	10,220
減損損失	887	670
負ののれん償却額	△477	△238
退職給付引当金の増減額	△838	△1,177
役員退職慰労引当金の増減額	△20	65
役員賞与引当金の増減額	93	△2
貸倒引当金の増減額	△101	△128
受取利息及び受取配当金	△1,223	△1,070
支払利息	120	223
為替差損益	△7	50
有形固定資産除却損	500	358
売上債権の増減額	△3,737	1,980
たな卸資産の増減額	1,507	△2,749
仕入債務の増減額	2,427	△1,012
その他	1,592	△2,814
小計	18,451	8,801
法人税等の支払額	△2,982	△2,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,469	6,724
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△398	△390
定期預金の払戻による収入	496	881
有価証券の売却等による収入	1,648	497
投資有価証券の取得による支出	△3,843	△7,139
投資有価証券の売却等による収入	202	2,562
有形固定資産の取得による支出	△7,693	△10,199
有形固定資産の売却による収入	313	416
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	371	—
貸付けによる支出	△520	△621
貸付金の回収による収入	491	613
利息及び配当金の受取額	1,220	1,145
その他	△220	△244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,930	△12,477
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額	△4,232	931
長期借入金の返済による支出	△36	△7
利息及び配当金の支払額	△1,412	△2,123
少数株主への配当金の支払額	△19	△19
自己株式の取得による支出	△176	△129
その他	7	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,870	△1,340
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	102	58
V 現金及び現金同等物の増減額	1,771	△7,034
VI 現金及び現金同等物の期首残高	20,786	22,557
VII 新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	280
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	22,557	15,803

連結決算の状況

■ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自平成19年4月1日 至 平成20年3月31日）

（単位：百万円）

	株 主 資 本				
	資 本 金	資 余 本 金	利 益 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 計
平成19年3月31日残高	7,773	7,419	116,463	△10,371	121,285
当連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△1,936		△1,936
当期純利益			1,406		1,406
自己株式の取得				△129	△129
自己株式の処分		1		6	8
連結子会社増加に伴う 剰余金減少			△1		△1
株主資本以外の項目の 当連結会計年度中の変動額（純額）					
当連結会計年度中の変動額合計	—	1	△531	△122	△652
平成20年3月31日残高	7,773	7,421	115,932	△10,493	120,633

	評 価 ・ 換 算 差 額 等				少 数 株 主 持 分	純 資 産 計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成19年3月31日残高	5,937	△907	△145	4,885	1,433	127,604
当連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						△1,936
当期純利益						1,406
自己株式の取得						△129
自己株式の処分						8
連結子会社増加に伴う 剰余金減少						△1
株主資本以外の項目の 当連結会計年度中の変動額（純額）	△5,253	103	188	△4,961	523	△4,438
当連結会計年度中の変動額合計	△5,253	103	188	△4,961	523	△5,090
平成20年3月31日残高	684	△803	43	△76	1,957	122,514

単独決算の状況

要約貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成19年3月31日)	当事業年度 (平成20年3月31日)
【資産の部】		
I 流動資産	50,374	41,330
II 固定資産	112,490	110,259
（有形固定資産）	31,049	29,664
（無形固定資産）	995	639
（投資その他の資産）	80,445	79,955
資産合計	162,864	151,589
【負債の部】		
I 流動負債	59,254	55,174
II 固定負債	9,072	8,264
負債合計	68,327	63,439
【純資産の部】		
I 株主資本	89,624	88,308
II 評価・換算差額等	4,913	△158
純資産合計	94,537	88,149
負債純資産合計	162,864	151,589

要約損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (18.4.1～19.3.31)	当事業年度 (19.4.1～20.3.31)
I 売上高	134,053	137,510
II 売上原価	70,249	73,720
売上総利益	63,804	63,789
III 販売費及び一般管理費	61,474	64,136
営業利益	2,330	△346
IV 営業外収益	3,746	4,534
V 営業外費用	997	1,535
経常利益	5,079	2,653
VI 特別利益	21	967
VII 特別損失	1,640	1,873
税引前当期純利益	3,460	1,747
法人税、住民税及び事業税	249	428
法人税等調整額	1,286	576
当期純利益	1,924	741

要約株主資本等変動計算書

当事業年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
		資本準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他 利益 剰余金 合計	任意 積立金							繰越利益 剰余金
平成19年3月31日残高	7,773	7,413	5	7,419	1,943	80,028	2,830	84,802	△10,371	89,624	5,820	△907	4,913	94,537
当事業年度中の変動額														
特別償却準備金の取崩						△16	16	—		—				—
固定資産圧縮積立金の積立						76	△76	—		—				—
固定資産圧縮特別勘定積立金の積立						73	△73	—		—				—
剰余金の配当							△1,936	△1,936		△1,936				△1,936
当期純利益							741	741		741				741
自己株式の取得									△129	△129				△129
自己株式の処分				1	1				6	8				8
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)											△5,175	103	△5,071	△5,071
当事業年度中の変動額合計	—	—	1	1	—	133	△1,328	△1,194	△122	△1,315	△5,175	103	△5,071	△6,387
平成20年3月31日残高	7,773	7,413	7	7,421	1,943	80,161	1,501	83,607	△10,493	88,308	645	△803	△158	88,149

安全・安心への取り組み

より確かな安全・安心をお客様へご提供するために 「グリコ食品安全センター」を開設。



グリコグループの品質保証にかかわる 分析業務を一元化

近年、社会では、食の信頼を揺るがす事件や事故が多数発生しています。食品表示偽装や残留農薬問題、重金属汚染や毒物混入事件など、その問題は多岐にわたり、複雑化しております。

このような状況に確実に対応し、食品メーカーにとって最も重要な「安全・安心」を徹底するために、グリコグループ4社（江崎グリコ株式会社、グリコ乳業株式会社、グリコ栄養食品株式会社、アイクレオ株式会社）は、2008年4月1日、江崎グリコ本社敷地内に「グリコ食品安全センター」を開設いたし





実験室



GC/MS室

グリコ食品安全センター

設 立：2008年4月1日

所 在 地：江崎グリコ株式会社 本社敷地内
(既存の研究棟2階部分に約600㎡)
大阪市西淀川区歌島4-6-5

センター長：加藤 克佳

人 員：17名(センター長含む)

主 な 業 務 内 容

- ・分析技術の開発研究と精度向上
- ・使用原材料の定期分析、新規採用時分析
- ・トラブル発生やお客様のお申し出に
対する緊急分析対応
- ・リスク情報の早期収集とデータベース化

ました。これまで各社で取り組んできた品質保証にかかわる分析業務を一元化し、高度な分析技術や科学的データを集約することで、迅速かつ適確な対応を行い、危機管理対応力を強化いたします。

グリコブランドの価値を守り、高める

食の安全・安心にかかわる問題は、一度起こってしまうと経営上重大なダメージを免れません。グリコ食品安全センターは、分析技術の精度アップや迅速化に加え、早期リスク情報の収集や危険予測データベースの作成など、トラブルの未然回避に努めます。グリコグループ全社の品質保証力が、この体制の下で強化されることによって、グリコブランドの価値を守り、高めることができると考えています。

食の安全で社会に貢献するセンターを目指して

食の問題は、人々の健康に影響を及ぼす問題です。いち食品メーカーの課題だけではなく、社会全体の問題と考えても過言ではありません。

グリコ食品安全センターでは、高度な分析機器の活用や技術者の養成に注力し、まだ確立されていない分析方法の研究開発にも積極的に取り組んでまいります。研究成果は、学会発表など、広く公開することで、日本の食の安全に貢献できるセンターを目指します。

菓子

菓子事業本部

“いつでもどこでも” 新スタイルチョコスナック登場!

【walky walky (ウォーキーウォーキー)】
〈チョコ&プレッツェル〉 〈いちご&プレッツェル〉
〈ビター&プレッツェル〉

『walky walky (ウォーキーウォーキー)』は長さ約5ミリの小粒プレッツェルをチョココーティングしたチョコスナックです。食べ口のついたカップに入っているので、手を汚さずにワンハンドで食べられるのが特長です。新たなスタイルを提案し、食シーンや需要の拡大を目指します。



まるでチーズをカリカリに焼いたような、 濃厚おつまみスナック。

【チーザ】 〈チェダーチーズ〉 〈カマンベールチーズ〉

カリカリに焼けたチーズのようなおいしさをスナック菓子で再現したのが『チーザ』です。グリコ独自のハイチーズ製法による濃厚なチーズの旨みとカリカリ食感が、ビールやワインなどのお酒の味を引き立てます。お酒をオシャレに楽しむ大人のための“おつまみスナック”として、おつまみカテゴリーを活性化します。



“ふんわりなのにパリパリ”の食感が楽しいハンディデザート。

【パリッテ】

チョコレートのパリパリした食感とソフトクリームのはんわりした食感。『パリッテ』はこの2つを同時に楽しめるアイスクリュームです。チョコレートをコートしながら巻き上げるため、アイスの内側にもチョコの層をつくることができました。ふわふわなのにパリパリ、見た目にも華やかなハンディスイーツとしてアイス市場を活性化します。



濃厚でリッチなおいしさ、大人のクッキーサンドアイスクリューム。

【プレミージュ】

〈チョコレート〉

乳脂肪12%のプレミアムアイスとクッキー、そしてソースの3つの組み合わせがおいしいクッキーサンドアイスクリューム『プレミージュ』。この春、ほろ苦いココアクッキーを使用した新味〈チョコレート〉を発売しました。おいしいものを少量だけ楽しみたい、というお客様の声にお応えした、贅沢なクッキーサンドです。



食品

食品事業本部

2段ルウが、 カレーをもっと深くする。

[2段熟カレー] <甘口> <中辛> <辛口>

「コクの熟成ルウ」と「香りの熟成ルウ」の2段ルウでおなじみの『2段熟カレー』が、この春、独自の2段ルウに磨きをかけ、あめ色たまねぎを強化するなど配合を見直すことでさらにコクがアップ!カレーがもっと深い味わいになりました。よりおいしくなった2段熟カレーを、ぜひお楽しみください。



牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

クラッシュゼリースイーツ。

[ドロリッチ!
クラッシュカフェゼリー クリームイン]

ストローで吸って食べる、まったく新しい「飲むカフェゼリー」です。クラッシュしたカフェゼリーとクリームが、カップの中で完全に混ざっていないので、今までにない喉越しの食感が楽しめます。



人気の〈とろ〜りクリーム〉に 杏仁豆腐新登場。

【とろ〜りクリームon杏仁豆腐】

ご好評いただいている「とろ〜りクリームonプリン／カフェゼリー」に続き、「杏仁豆腐」が新登場。プルツとした杏仁豆腐の上に、とろ〜り杏仁クリームをのせた、今までにない二層タイプの本格スイーツです。



少量でもおいしいものを。

【ステキな朝食 シリーズ】

〈ロースハム〉〈ボンレスハム〉〈ベーコン〉

2〜3人世帯をターゲットに、質的満足と買いやすい価格帯という相反するバランスを実現し、一般の高品質こだわり商品との住み分けを図りました。添加物は極力減らし、ドイツ直輸入のスパイスを使用してハム本来のおいしさを追求しました。また、シンプルで見やすい表示、大きな2箇所の開け口など、高齢の方にも配慮しました。



夕張市の基金へ寄付金を贈呈。

当社は、夕張を応援するため、株式会社ローソン様（全国約8,500店舗）の協力を得て、商品1個あたり10円の寄付金が含まれる『カプリコスティック〈夕張メロン〉』を10万個限定で販売し、平成20年2月27日に北海道夕張市の「幸福の黄色いハンカチ基金」へ100万円を寄付いたしました。「子供たちの健全な育成に関する事業」にお役立ていただけます。

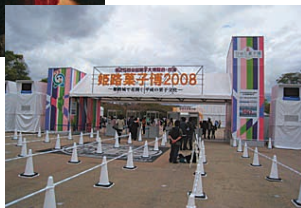


※既に販売は終了しています。

「姫路菓子博2008」に出展しました。

4月18日（金）～5月11日（日）、姫路城周辺（兵庫県姫路市）にて全国の銘菓が一堂にそろう「姫路菓子博2008（第25回全国菓子博覧会・兵庫）」が開催され、当社はメインゲートに程近い「夢のお菓子ランド」に出展いたしました。

参加するとお菓子の詰め合わせや記念品がもらえるスロットゲームなどを行い、たくさんの来場者を楽しんでいただきました。



会社の概要

商号 江崎グリコ株式会社
創立年月日 大正11年2月11日
資本金 7,773,681,654円
営業品目 菓子・食料品の製造および売買。飲食店の経営。
従業員数 1,178名
本社所在地 〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号

主な事業所

- 本社
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話(06)6477-8352
- 北海道統括支店
〒003-0807
札幌市白石区菊水7条二丁目7番1号
電話(011)812-6311
- 東北統括支店
〒981-0912
仙台市青葉区堤町一丁目1番2号
電話(022)717-2821
- 首都圏統括支店
〒108-0023
東京都港区芝浦四丁目16番23号
電話(03)3798-0717
- 中部統括支店
〒461-0022
名古屋市東区東大曽根町22番28号
電話(052)919-0714
- 近畿統括支店
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話(06)6477-8470
- 中・四国統括支店
〒733-0003
広島市西区三篠町三丁目6番28号
電話(082)230-4111
- 九州統括支店
〒812-0013
福岡市博多区博多駅東三丁目13番28号
電話(092)474-0331

主な関係会社

北海道グリコ株式会社
仙台グリコ株式会社
茨城グリコ株式会社
グリコ千葉アイスクリーム株式会社
東京グリコ株式会社
武生グリコ株式会社
三重グリコ株式会社
関西グリコ株式会社
神戸グリコ株式会社
グリコ兵庫アイスクリーム株式会社
鳥取グリコ株式会社
九州グリコ株式会社
江栄情報システム株式会社
株式会社グリコ物流サービス
東北フローズン株式会社
関西フローズン株式会社
THAI GLICO CO., LTD.
GENERALE BISCUIT GLICO FRANCE S.A.
上海江崎格力高食品有限公司
上海江崎格力高南奉食品有限公司
グリコ乳業株式会社
グリコ栄養食品株式会社
アイクレオ株式会社

役員

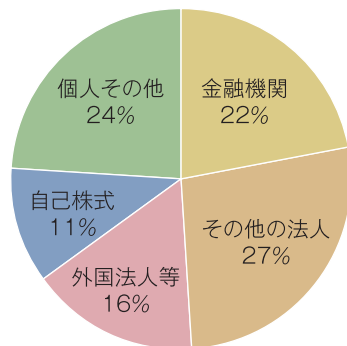
代表取締役社長	江崎 勝久	取締役	玄 洋二郎	監査役	穴穂 忠男
常務取締役	大川 焔 勝也	取締役	門 奈 俊夫	監査役	玉井 英二
常務取締役	原 光 伴	取締役	金子 春義	監査役	太智 幸夫
常務取締役	吉田 安 矩	取締役	森井 健一	監査役	倉持 治夫
常務取締役	深川 修 二	取締役	芝池 正明	監査役	枅田 圭兒
常務取締役	中川 宗 和	取締役	村上 泰民		
取締役	江崎 正 道	取締役	栗木 隆		

(注) 監査役のうち、玉井英二、倉持治夫及び枅田圭兒の3氏は、社外監査役であります。

株式の状況

会社が発行する株式の総数	470,000,000株
発行済株式総数	144,860,138株
株主数	15,852名

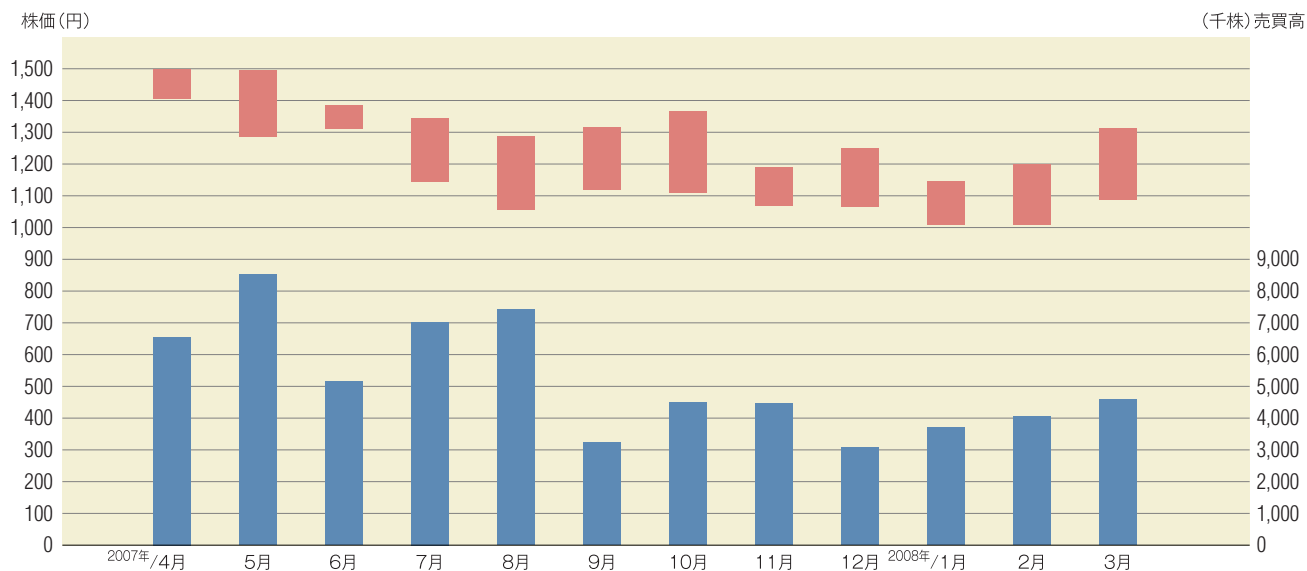
所有者別株式数比率



大株主

氏名又は名称	持株数(千株)
スティールパートナーズジャパンストラテジックファンド(オフショア)エルピー	21,750
掬泉商事株式会社	8,263
江崎正道	7,240
大同生命保険株式会社	7,000
日清食品株式会社	7,000
佐賀県農業協同組合	5,887
大日本印刷株式会社	3,197
日本生命保険相互会社	2,342
三井住友海上火災保険株式会社	2,112
大正製薬株式会社	2,020

株価および株式売買高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社証券代行部

郵便の場合

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

住所変更等用紙のご請求…………… ☎ 0120-175-417
買増請求、その他のご照会…………… ☎ 0120-176-417

インターネット ホームページURL

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社全国各支店

公 告 の 方 法 当社のホームページに掲載する。
(<http://www.glico.co.jp>)

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所、大阪証券取引所

株主様 ご優待

1,000株以上ご所有の株主様に、つぎの要領で、当社製品の詰め合わせを贈呈させていただいております。

- 贈呈時期 6月末頃と12月中旬頃にお送りいたします。
- 贈呈基準 3月31日現在および9月30日現在の株主様へ

1,000~
1,999株



市価 約800円相当額製品

2,000~
9,999株



市価 約1,600円相当額製品

10,000株
以上



市価 約3,000円相当額製品

※写真は、詰め合わせ商品例



江崎グリコ株式会社

<http://www.glico.co.jp>